

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表： R6年 3月 31日

事業所名 スマイル

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			運動スペースと休憩スペースを設け、十分な広さを確保している
	2	職員の配置数は適切である	○			常時、3名以上の常勤スタッフを配置している
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		○		
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○			1回/週のスタッフミーティングにて業務改善と目標設定を実施している
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			送迎時の聞き取りからミーティング議題に提案し、即時改善できる事項に関しては実施している
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○			定期的にスタッフ研修を実施。療育、運動、ソーシャルスキル等、様々なテーマに沿って実施している
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○			自由時間を使い個別にアセスメントを行い、スタッフでの共有を図っている。また、業務にその日の様子や変化の共有を図っている
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			独自のアセスメントシートを作成し、その書式の沿って実施している
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○			運動プログラムの提案は適宜行うと共に、その療育の根拠についても共有を図っている
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○			1週間に1度のプログラム改定を行い、利用者が飽きないプログラム作成を図っている
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○			それぞれの利用日で課題を抽出し、個別支援計画に沿って支援を実施している
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○			その日の状況に応じてグループレッスンとパーソナルレッスンを組み合わせ実施している
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○			前日までに、メインスタッフとサブスタッフを設定し、業務分担に関しても設定している
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○			業務終了にその日の反省を行い、社内SNSにてスタッフでの共有を図っている
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			専用システムを利用し、システム内にメニューを始めその日の様子なども細かに保管している
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○			独自の要望シートを作成し保護者要望と日々の関わりの中で必要な事の見直しを行っている
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	○			運動を通じて、自立支援・余暇活動をはじめ、運動能力の向上を図っている	

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			管理者をはじめ、日々の業務に携わっているスタッフが担当者会議に出席している
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○			下校時間の確認や、授業中の様子など、敵宜学校との情報共有を図っている
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		○		
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○			
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○			
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○			専門機関に研修を依頼を行い、スタッフ研修に取り入れている
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○			運動療育スクールの子どもの交流など、定期的にイベントを行っている
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○			地域での協議会をはじめ、勉強会等には必ず参加している
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○			送迎時に保護者様への報告と、これまでの様子などヒアリングを行い、ミーティングにて共有を図っている
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		○		
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			契約時に運営規定、重要事項等の説明を行っている
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○			各種イベント企画の際に、定期的に保護者向けの内容を企画し、保護者同士の交流も図っている
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○			ご意見を頂いた際には即時ミーティングを行い、分析と改善を行っている。また、報告書にて保管している
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○			月に1度「スマイル通信」を発行し、イベント報告や季節の催しでの写真等を掲載している
	35	個人情報に十分注意している	○			
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○			イベント開催時などを利用して、地域の奉仕活動を実施している

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○		
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		月に1度、地震・火災・不審者等の避難訓練を実施し、報告書に保管している
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		外部での研修参加をはじめ、社内に専門家を呼び、研修も実施している
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している		○	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○	アレルギーを持っている利用者に関しては、敵宜対応を実施している
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		日々の中で起こる事例を社内SNSを利用して共有を図っている